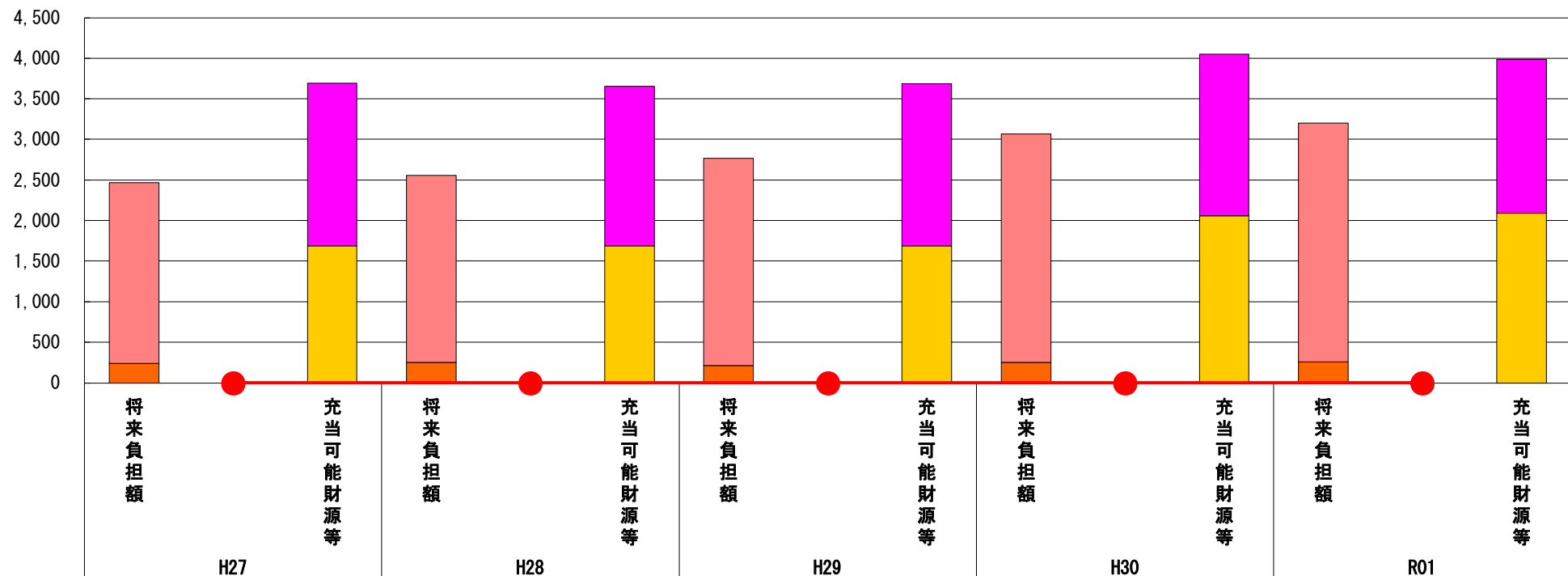


(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和元年度

鹿児島県三島村

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H27	H28	H29	H30	R01
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		2,230	2,299	2,551	2,817	2,941
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		2	-	-	-	-
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		237	254	214	250	256
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		2,007	1,968	1,999	1,989	1,893
	充当可能特定歳入		-	-	-	-	-
	基準財政需要額算入見込額		1,685	1,685	1,687	2,058	2,092
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 1,224	▲ 1,100	▲ 922	▲ 980	▲ 789

分析欄

一般会計等に係る地方債の現在高が平成30年度から124百万円増加していることにより、将来負担比率分子も増加している。今後、新規発行債を抑制し、交付税算入で有利な起債の活用に努める。また、充当可能財源の確保にも努め、将来負担比率の発生を抑制する

※令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。